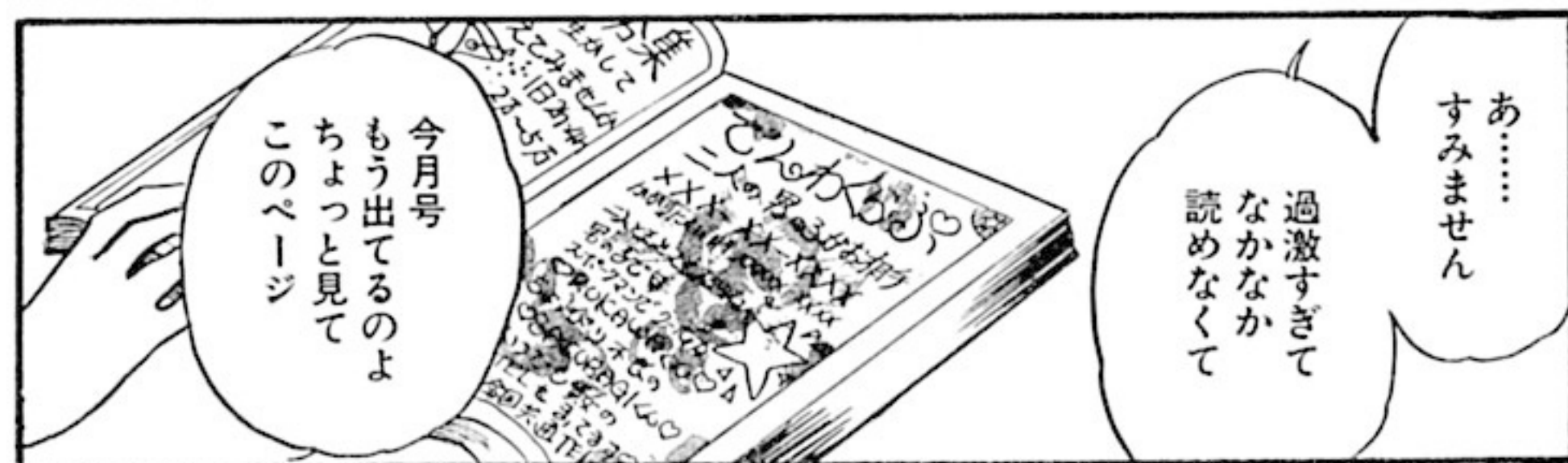
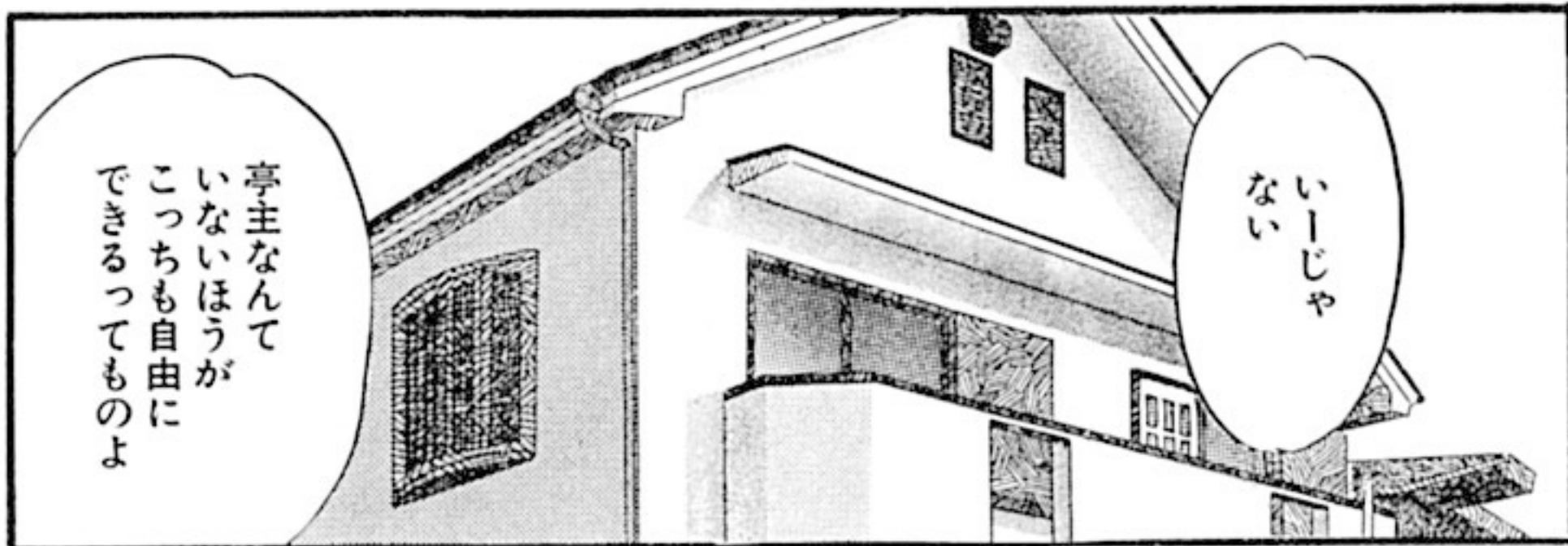


肉体ア
ルバ
イト
人妻・秘密の

KONDOH ATSUKO

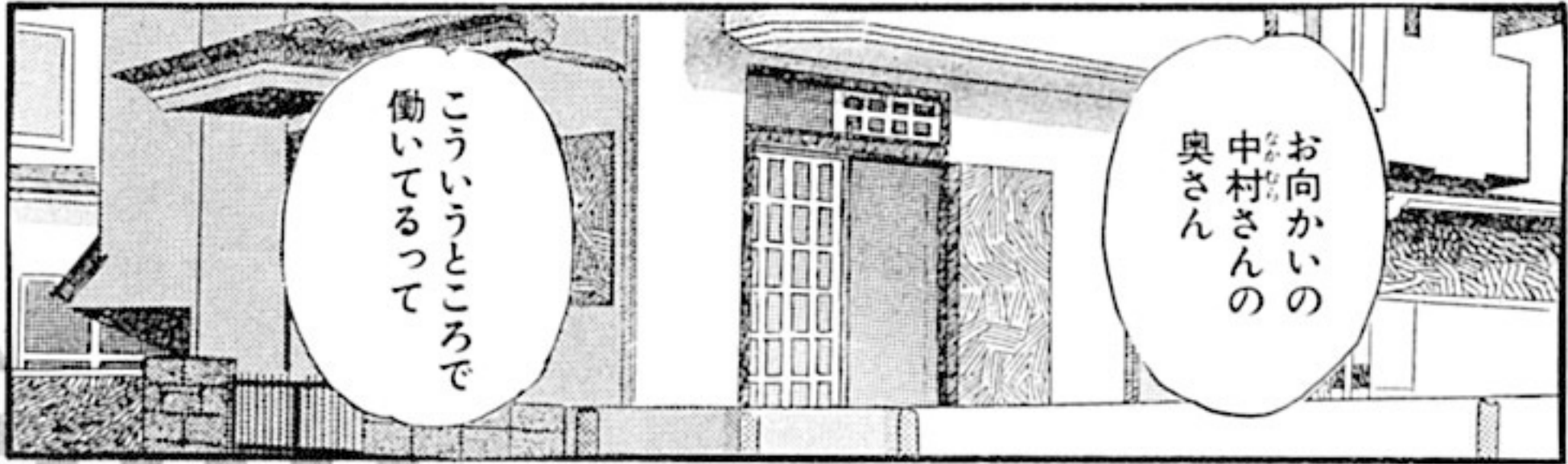
近藤厚子

原作 / Aダッシュ



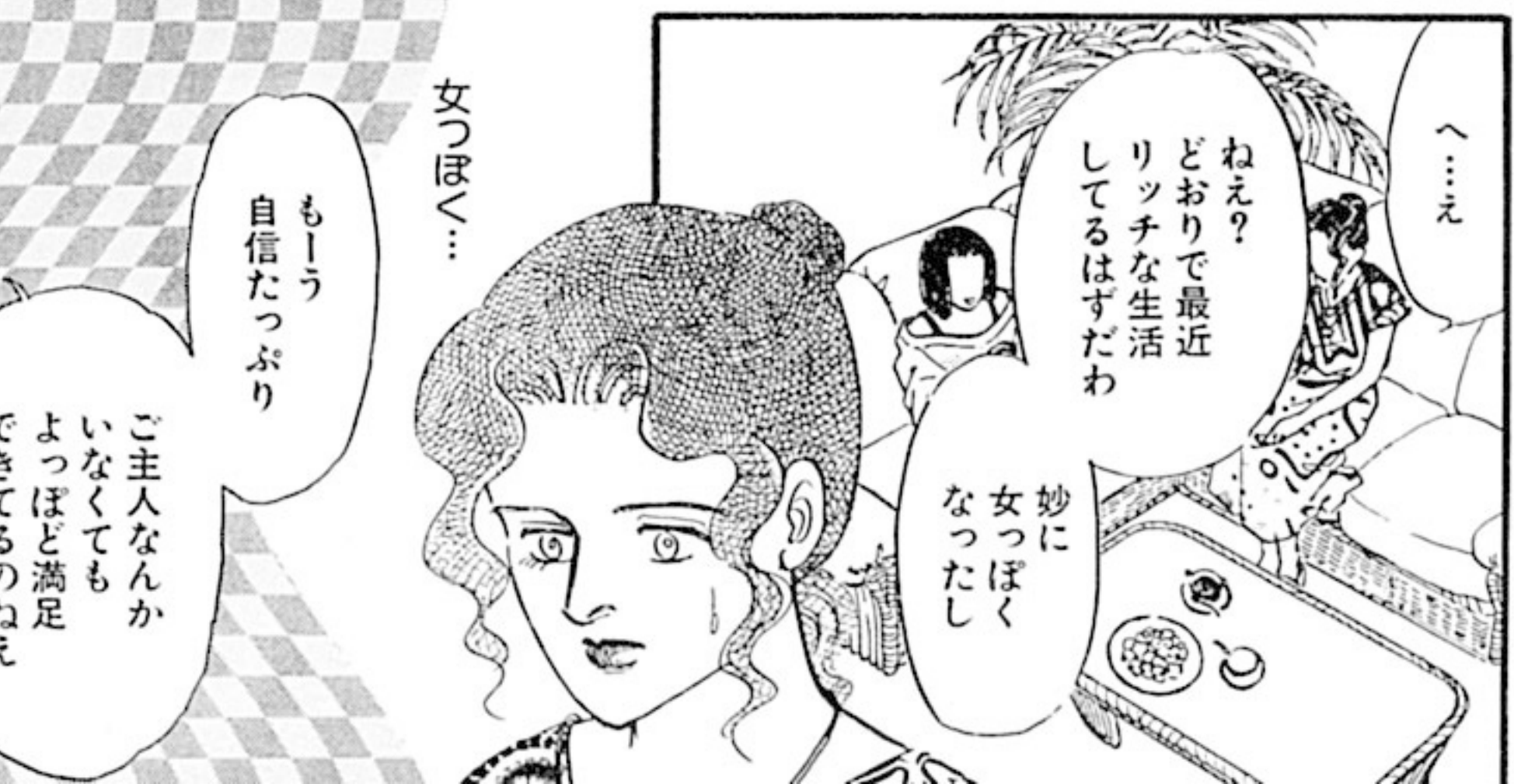


噂なんだけど……



こういふところで働いてるって

お向かいの中村さんの奥さん



へ……え

ねえ? どおりで最近リッチな生活してるはずだわ

妙に女っぽくなっただけ

もーう 自信たっぷり

ご主人なんかいなくてもよっぽど満足できてるのねえ

女っぽく……

「うるさいな
疲れてるんだよ」

「あなた……!」

ご主人なんか
いなくても

自信たっぷり

どうせやらせて
くれないんだろ

どうせ——

どうしたの
由起子さん

あら……
ごめんなさい

私ったら
ポーツと
しちゃって

よっぽど満足
できてるのねえ……

ホホ……

何バカなこと
考えてるの

私つたら



その記事に

心を
くすぐられている
自分がいました



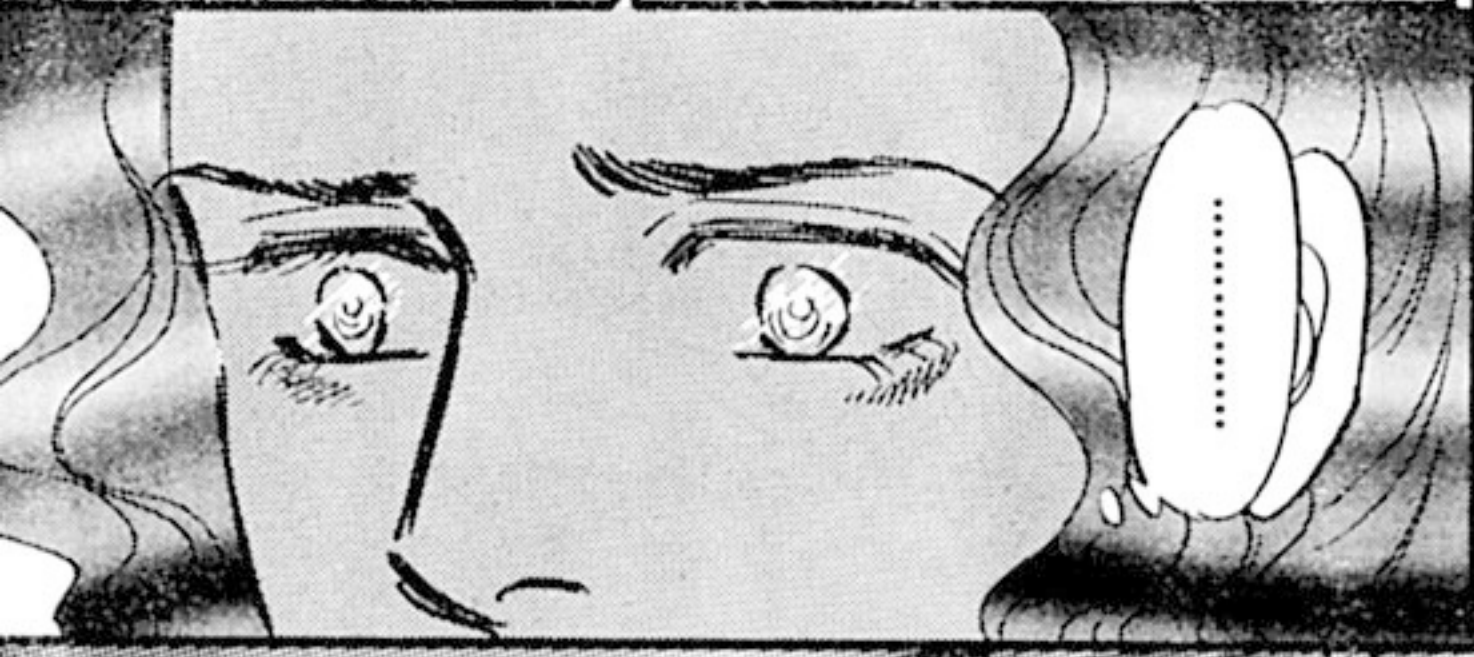
あの人...

今日も
遅いのね



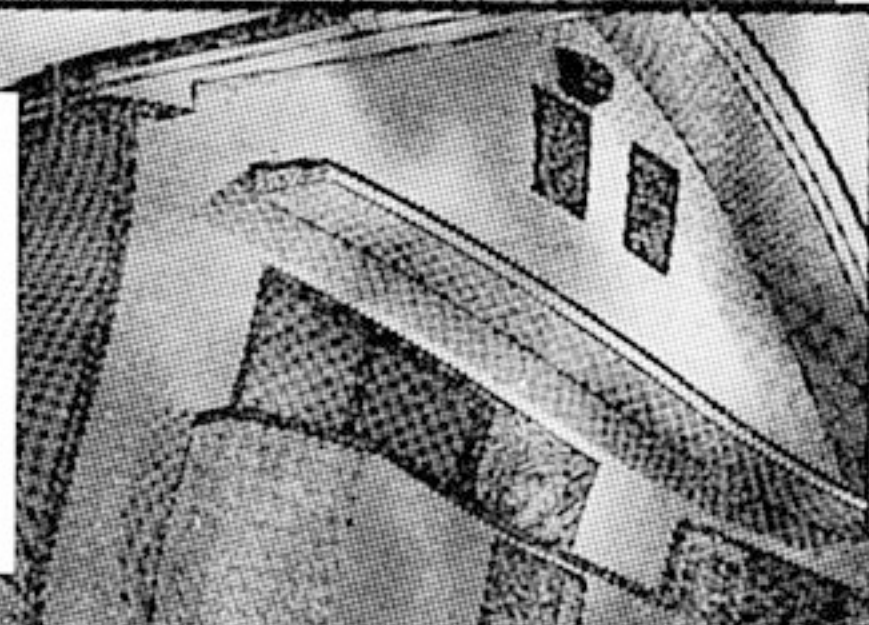
確かめて
みたい...

夫に相手にされない
こんな私でも
まだ女として
通用するのだろうか



今
思えば

その時の私は
情緒不安定
だったのかも
しれません



倶楽部 蘭

MEMBERS ONLY

ちようど女の子が
やめたばかり
でしてね

今日から
働いてもらえると
助かるんですが

奥さんのように
美しい人に
来てもらえば
この店の格も
上がるってんです

まあ

お世辞つて
わかつていても

気分は
悪くない…

ああ
それと

店に出る時は
これをつけて
ください



これを……
着るんですか？

だってこれ
下着……

マスクをしてれば
そう恥ずかしくも
ありません

大丈夫ですよ

奥さん
体きれいだから

なあに

そう
ですよ







これって…

まさか
スワッピング
!?



ここは一応
カップルでというのが
規則ですが

時には
お1人の男性客も
いらっしやる

あなたの仕事は
そういった男性の
お相手をして
いただくことです



あなただって
気持ちいいこと
嫌いじゃないでしょ？



まず
手初めに

あの方について
いただきましょう

その言葉が

私の中に残っていた
最後の抵抗感を
失わせて
しまいました



この仕事
初めて？

震えてるね



ふふ…

え…ええ



かわいいよ
初々しくて

アッ



久しぶりの
感触でした



ここには
私を女として…
欲望の対象として
見てくれる男がいる





見せて

あ…

すごい

もうこんなに
あふれてる



ニニニ



へえ…

すごい
キズだね



あ…いや

いいよ
とても

いいから

なんだか
秘密めいて

あ……あ

夫と私を
遠ざけた
このキス……

1人の時は
あんなに
痛んだのに

ピキキ

ピキキ

あ……

その時は
痛むどころか

熱く……そこから
溶けてゆくように
思えたのです





男は私を押し倒し
激しく貫いてきました

あっ

あっ

ド
ッ

身体は痺れ
頭がボーツとなり



エクスタシーの間に
吞まれていったのです

ずんずん

いつしか私は
夫のことを忘れ

いいよ
君



太腿に傷のある彼女を呼んでくれないか

かしこまりました



太腿に傷のあるあの女性がいいな

店に勤め始めてあつというまでに半年がすぎ…



私は太腿にキズのある女として

いつのまにか指名率トップの女の子になつていたのです



さ…今日は どうしてほしいの？

いいわよ

でもいい子に してなきや ダメ！

い… い… い…



さあ
どうなの
どうなの？

ああ
いいです
気持ちいいです

客のあしらいも
うまくなり



どうぞ
ご主人様

いやらしい私に
おしおきを
なさってください



相手によつて
様々な女を
演じられるように
なりました

あなた
こういうところ
初めて？



私に
まかせて
おいてね



不思議だな

あなたみたい
美しい女性が
こんな店に
いるなんてさ



このキズと
関係
あったりして?

ふふ…

昔の
キズよ

好きだった男と
心中しそこね
ちゃったの

ふうーん
名誉の勲章
ってわけだ

ね…
内緒で一枚
撮らせて
くれない?

えっ!?

家に帰っても
君のこと
忘れないようにさ

シャッターの
音の中――

私は
映画のヒロインに
なったような
気持ちになっ
ていました――

そして
熱に
浮かされたように

何度も何度も
エクスタシーに
身を震わせたのです

多勢の男たちに
体中を愛撫されて
いる私を
その男は写真に撮りまじた

カニヤ

カニヤ